

目標達成計画

作成日: 平成 27年 3月13日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	11	「連絡ノート」があるが、単なる事務連絡になっていて、活用が限られている。 職員の意見の反映には至っていない。	運営に関する意見も出て、より良い職場となるようにしたい。 人間関係を円滑に行えるように、声に上げにくい内容も吸い上げたい。	今あるノートに「ありがとう」等、いろんな思いを記入できるような働きかけを行う。 カンファレンスでも活用を促すようにする。	2ヶ月
2	37	現在、災害対策について火災を重視し、消防訓練のみ行っている。 水害、地震などの想定、地域の状況、地域の方々の意向等の確認が十分行われていない。	地域の情報を収集し、避難経路を把握し、職員全員が災害対策を頭に入れ、その時は速やかに動けるようにしたい。	市区町村からの情報を集め、運営推進会議等で、地域の方々のご意見を伺う。 全職員が周知し、対応ができるように訓練をする。	6ヶ月
3	35	介護の重度化が進んできて、終末期に不安を抱える入居者も増えて来ている。 そうなった時に入居者もその家族も安心できるように、職員が落ち着いて対応できるか疑問である。	入居者、家族が安心して終末期を迎えられるようにしたい。 職員に「看取りにかかる指針」を説明し、情報を共有し、個別のしっかりした対応が行えるようにする。	職員とケアカンファレンスを積み重ね、落ち着いて対応できるようにする。 入居者、家族と方針を納得に行くまで話あい、しっかりした指針の下、満足のいく支援を行えるようにする。	6ヶ月